

第3回建設トップランナーフォーラム

「環境」テーマに40事例発表

中小の経営革新へ国交省も支援

公共事業の減少が続く中、環境ビジネスやアグリビジネスなどの新事業、技術開発に挑戦する建設会社・支援者でつくる建設トップランナーフォーラムと日本青年会議所建設部会による「第3

回建設トップランナーフォーラム」が、7月24日に東京・港区の建築会館で開かれた。「クールアースをめざして For Our Cool Earth 2050」をテーマに、25日までの2日



間、全国の建設企業が環境ビジネスや循環型社会などの事例のほか、建設業の農業参入をテーマにしたアグリビジネス、林業者と建設業者のコラボレーションによる森林再生の挑戦など、計40事例を紹介した。

日本青年会議所青年部会の奥田孝行部会長は「フォーラムへの参加をきっかけに元気を持ち帰り、自分たちの会社の活動のヒントにしていたきたい」とあいさつ。

フォーラムを後援する国土交通省からは冬柴鉄三大臣が参加し、「まさにトップランナーである皆さんの地域の実状について語り、新たな事業の展開を発表し、意見交換することは建設産業の今後の発展にとって非常に意義深い」と述べることも、国土交通省としても、引き続き地域の中堅・中小企業の経営革新のための支援を進めていく考えを示した。

初日の24日は、「介護、森林、地域おこし」(宮崎県・第一建設)、「ミラクルソル

その後、主催者の一人である東京工業大学の和田章教授が「環境と耐震」をテーマに特別講演、慶應義塾大学の米田雅子教授が総括講演を行った。

2日目の25日は9時30分に開会。ワークショップ形式で「環境ビジネス」「森林再生」「アグリビジネス」「地域づくり」「新発想ビジネスなど」への進出企業がそれぞれ取り組み事例を発表。

その後、主催者の一人である東京工業大学の和田章教授が「環境と耐震」をテーマに特別講演、慶應義塾大学の米田雅子教授が総括講演を行った。

フォーラムに関する問い合わせ先は、建設トップランナーフォーラム事務局(建築技術支援協会内)03・5689・2911。